



# 社会および環境的要件遵守のための 実践ガイド

ライセンシーのための実践指針

Cody Cisco、Laura Gitman、Celine Suarez、BSR

2011年11月1日



BSR®



# 本レポートについて

## 注意書き

本指針で表明する見解は、もっぱら BSR の作成者の見解であって、本指針の策定において BSR と協議したまたは策定に参加したグループの見解ではない。本レポートで示す優れた実践は、BSR スタッフの専門家としての経験と判断のみに基づくものである。

これらのガイドラインに従うことは、参加企業が必ず工場またはライセンサーを承認するということを意味せず、これを保証しない。加えて、企業の要件はいつでも変化し得るものであり、個別のライセンサーや小売業者の契約上の要件は様々であろう。この手引書は、個々のライセンサーまたは小売業者に特有の契約要件または研修もしくは手引書に代わるものではない。

## 作成者について

本指針は、BSR が International Licensing Industry Merchandisers' Association (LIMA) および BSR のライセンシング・ワーキング・グループ (Licensing Working Group) と協議して策定した。

## BSRについて

1992 年の設立以来、企業責任のリーダーである BSR は、250 社を超える会員企業のグローバルなネットワークを有し、コンサルティング、調査およびセクターの枠を越えた協働により、持続可能な企業戦略とソリューションの開発に取り組んでいる。アジア、ヨーロッパおよび北アメリカに事務所を置く BSR は、グローバル企業の公正かつ持続可能な世界を作るための活動を手伝うために、環境、人権、経済開発、ならびにガバナンスおよびアカウンタビリティにおける専門知識を活かしている。詳しくは [www.bsr.org](http://www.bsr.org) を参照のこと。

## LIMAについて

1985 年に設立された International Licensing Industry Merchandisers' Association (LIMA) は、全世界のライセンシング産業の主要な同業者組織である。LIMA の使命は、調査、国内および国際セミナー、同業者イベントならびに出版によりライセンシングにおけるプロ意識を向上させるため、業界の全部門と協力することである。LIMA は、35 か国の会員を擁し、ニューヨーク、ロンドン、ミュンヘン、東京、上海および香港に支部を、またヨーロッパ、インド、イタリア、スペインおよびオーストラリアに拠点を置いている。詳しくは [www.licensing.org](http://www.licensing.org) を参照のこと。

## ライセンシング・ワーキング・グループについて

ライセンシング・ワーキング・グループは、業界が社会および環境基準を提示し、コンプライアンス違反の背景にある根本原因に対処し、ライセンシングのサプライチェーン全体で体系的に管理されるコンプライアンスを促進するのを手助けする手段とリソースを開発するために、ライセンサーとライセンシーを 1 つにまとめている。ライセンシング・ワーキング・グループのメンバーには、Hasbro、LIMA、NBCUniversal、Time Warner および The Walt Disney Company が含まれている。本指針の策定は、ライセンシング・ワーキング・グループのメンバーからの資金提供によって可能となった。

フィードバック、質問または意見があれば、以下にご連絡いただきたい。

Cody Sisco  
コンサルティング&会員サービス  
マネジャー  
[csisco@bsr.org](mailto:csisco@bsr.org)

Laura Gitman  
コンサルティング&会員サービス  
マネージング・ディレクター  
[lgitman@bsr.org](mailto:lgitman@bsr.org)

Celine Suarez  
コンサルティング&会員サービス  
マネジャー  
[csuarez@bsr.org](mailto:csuarez@bsr.org)

## 目次

<b>本指針の使い方</b>	<b>4</b>
<b>1 概要：ライセンサーの基準およびライセンシーへの要請</b>	<b>5</b>
1.1 行動規範の概観	
1.2 主要な問題および懸念事項	
1.3 ライセンシーに対する期待	
1.4 行動規範の採用に関する手引	
<b>2 改善領域の把握のための業務調査</b>	<b>8</b>
2.1 行動規範と実施要件を伝達する	
2.2 工場選定および契約締結過程の一部として コンプライアンスを組み入れる	
2.3 契約条件に基づき、工場の費用構成の比較検討する	
2.4 過剰な超過勤務からの影響を最小限にするため注文変更を削減する	
2.5 ビジネスニーズとコンプライアンスに関し優れた実績を残した ビジネスパートナーへの報奨を考慮する	
2.6 主要なビジネスパートナーと長期的関係を構築し維持する	
2.7 製品設計の際、社会および環境問題へ配慮する	
2.8 現行の業務の評価を通じて、改善点を特定する	
<b>3 綿密なサプライチェーン計画</b>	<b>12</b>
3.1 制限対象国に生産場所を置くことを回避する	
3.2 リスクの地域差を認知する	
3.3 主要な原料供給源とリスクを監視する	
<b>4 ライセンサーへの施設報告</b>	<b>15</b>
4.1 ライセンサーに報告すべき内容を把握する	
4.2 ライセンサーのブランド製品を製造している施設の名称と場所を 把握する	
4.3 下請業者を利用しているかモニターリングする	
<b>5 施設の社会および環境コンプライアンスの評価</b>	<b>17</b>
5.1 社会コンプライアンス監査	
5.2 環境コンプライアンス監査	
5.3 監査報告書が何を意味しているかの理解	
5.4 腐敗、賄賂行為および詐欺的記録に関する統制	
5.5 真偽の確認：監査の限界	
<b>6 労働条件を是正・改善</b>	<b>22</b>
<b>7 将来に向けて</b>	<b>23</b>
<b>付属書：リソースの概要</b>	<b>24</b>

## 本指針の使い方

本指針は、ライセンシーの上級管理者と専門家が、ライセンサーが要求する社会および環境コンプライアンスの要件をいかにして満たすことができるかを考えるための出発点となる。また、ライセンシーが直接および委託製造ならびにサプライチェーン内の労働条件をいかに改善すべきかに関する手引も提供している。

本指針は、主にライセンシーとその供給業者、下請業者および代行業者、ならびにライセンス製品の生産にかかる他の方々のために作られたものである。

ライセンサーと小売業者には、ライセンサーおよびブランドからのサプライチェーン内の社会および環境コンプライアンスについての要求にいかに応じるべきかに関する案内書として、本指針をライセンシーに送付するようお勧めする。本指針に対するフィードバックとライセンシング・ワーキング・グループへの参加もお勧めする。意見を伝えたり、参加したりするには、このリンクを使用のこと。[www.bsr.org/en/about/inquiry-form](http://www.bsr.org/en/about/inquiry-form)

- » セクション1は、ライセンサーの期待することに焦点を当てている。
- » セクション2は、社会および環境コンプライアンスを供給業者との取引関係に組み込むことについての実践的なヒントに焦点を当てている。
- » セクション3は、コンプライアンスのリスクを特定し、理解することについての実践的なヒントに焦点を当てている。
- » セクション4は、工場に関する情報を追跡し、ライセンサーに開示することについての実践的なヒントに焦点を当てている。
- » セクション5は、供給業者の社会および環境コンプライアンスを監視することについての実践的なヒントに焦点を当てている。
- » セクション6は、労働条件を改善するために役立つ是正方法に焦点を当てている。
- » セクション7は、ライセンシング産業にかかり、業界の他社と協働することを可能にする方法を述べている。
- » 付属書は、社会および環境コンプライアンスの取組みに役立つ組織やその他のリソースをアルファベット順に列挙している。

## 1. 概要：ライセンサーの基準およびライセンシーへの要請

ライセンサーのブランドの評判は、ライセンス商品が製造される工場の労働条件と密接に結びついている。それゆえ、ライセンサーは、ライセンシーが社会および環境基準を維持することに高い関心を持っている。



多くのライセンサーは、ライセンシーが守らなければならない原則と要件を明確に定める行動規範を制定している。これらの行動規範は通常、ライセンシーの下請業者にも適用される。加えて、多くの小売業者は同様の要件を設定している。

### 1.1 行動規範の概観

行動規範は、人権、労働基準、労働条件、業務上の安全衛生、環境管理、企業の健全性および腐敗防止に関する企業行動を記述したものである。これらの規範は一般に、国際労働機関（ILO）の労働における基本的原則および権利に関する宣言（International Labour Organization's Declaration on Fundamental Principles and Rights at Work）ならびに中核的な労働基準に関する関連条約に基づくものである。また、行動規範は通常、現地の労働法も参考にしている。

行動規範は、製造業者が工場内で維持すべき基準を記述している。多くの場合、ライセンサーは、供給業者、下請業者および代行業者によるコンプライアンスの監督も求める。加えて、一部の行動規範は、社会的環境的責任を尽くすための管理システムの要件や継続的な改善のための原則を明記している。多くの企業は自社独自の行動規範を有しており、加えて、多くがグローバルな基準および／または業界別規範を支持または承認している。

## 1.2 主要な問題および懸念事項

基準に満たない労働条件の存在は、ライセンシング産業の継続的な課題である。これは、特に発展途上国に多いが、先進国も例外ではない。下記のリストは、すべての問題を網羅している訳ではないが、このような問題の発生が知られていて、問題の発生頻度には偏りがある。

人権および労働基準	業務上の安全衛生	環境コンプライアンス	企業の健全性および腐敗防止
<ul style="list-style-type: none"><li>» 児童労働および強制労働</li><li>» 賃金および手当の不適切な支払い</li><li>» 過剰な超過勤務および不十分な休日</li><li>» 上司による嫌がらせ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>» 機械の安全装置の欠如（けがの危険）</li><li>» 基準に満たない化学薬品の管理慣行（けがおよび疾病の危険）</li><li>» 火災安全（けがの危険）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>» 必要な許可を得ていない</li><li>» 現地の法定要件を越えた大気および水質汚染</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>» 記録の偽造</li><li>» 工場検査官の賄賂行為</li></ul>

このような問題を禁止する労働法の存在、供給国による ILO 条約の採択、政府の労働検査官による検査、主要なグローバル・ブランド、小売業者およびライセンサーによる 10 年を超える工場の監視、ならびに活動家の注目およびメディアの報道などのような対策にもかかわらず、このような状況は一部のケースで依然として続いている。ライセンサー、ライセンサーおよび工場の知識と能力の不足、強い価格圧力、ならびに各調達先内の体系的な問題など、根強く残るこれらの課題には多くの潜在的原因がある。本指針は、ライセンサーに手引を提供することにより、最初に挙げた問題、すなわち知識と能力の問題に対処することを試みている。

ライセンサーがライセンサーの社会および環境コンプライアンス要件を満たしていることを実証できれば、頻繁なコンプライアンス監査及び集中的な監査を減らすことができ、経費節減及びライセンサーとの取引関係を維持・拡大できることもでき、利益をあげることも可能である。加えて、このようなライセンサーは、取引の縮小または打切りなど不都合な結果を回避できるかもしれない。

## 1.3 ライセンサーに対する期待

ライセンサーは、ライセンサーが自社の製品を作る際に、一定の手順に基づいて適用法、規則、ライセンサーの行動規範などの基準を遵守しているか否かを確認することを求める。加えてライセンサーは、ライセンス商品の生産にかかる自社の供給業者、代行業者および下請業者にもこれらを遵守させる責任を負う。

実際のところ、ライセンサーは、自社のサプライチェーンにおけるコンプライアンスを監視・推進するための行動を取ることを要求される。これらの内容については、次のセクションで詳細に述べる。

## 1.4 行動規範の採用に関する手引

行動規範は、潜在的および既存の供給業者、下請業者および代行業者に、自社の社会および環境的基準の遵守について明確に示すものである。業界基準の行動規範を採用するのもよいが、ライセンサーまたは小売業者の行動規範を採用してもよい。既存の行動規範を検討し、自社に適したものがないと判断した場合は、顧客のニーズ、同業者の基準、および国際的に受け入れられた優れた実践に沿った独自の行動規範を作ることもできる。

## ライセンサーのための実践的ヒント

- » いざれの基準または業界規範を受け入れるかをライセンサーに尋ね、最も適切なものを採用する（すなわち、可能であれば新たに作ることは避ける）。
- » 先を見越してコンプライアンスを実証するために自社に何ができるかをライセンサーに尋ねる。
- » 主要なテーマを特定するためにライセンサーおよび小売業者のプログラムを検討する。例えば、一部のライセンサーは、環境に関する許可など特定の検討事項をその他 の事項より重視する。
- » 関連するすべての方針および手順を実施していることを確認するために、ライセンサーおよび小売業者の実施要件を検討する。
- » ライセンサーまたは小売業者の行動規範に食い違いがある場合に、説明を求める。
- » 自社の方針を実施し、それらの遵守状況を追跡するために、人員、システムおよびリソースを充てていることを確認する。
- » 一からやり直すことを避けるために、ライセンシング産業の他社と協働する。例えば、下記のリンクから、ライセンシング・ワーキング・グループが運営する今後の研修またはワークショップに参加してもよい。[www.bsr.org/en/our-work/working-groups/licensing-working-group](http://www.bsr.org/en/our-work/working-groups/licensing-working-group)

## リソースおよび参考

この部分的なリソースのリストは、行動を起こす一助となる（詳細は付属書を参照のこと）。

### 業界の行動規範

- » LIMA 企業行動規範（Code of Business Practices）：27 頁
- » ICTI CARE 企業行動規範（Code of Business Practice）：26 頁
- » Global Social Compliance Programme 基準規約（Reference Code）：26 頁
- » Ethical Trade Initiative 基本規約（Base Code）：25 頁
- » Social Accountability International SA8000 基準（SA8000 Standard）：28 頁

### ライセンサーの行動規範

- » The Walt Disney Company：  
[http://corporate.disney.go.com/media/corporate/compliance/languages/Code\\_of\\_Conduct\\_English.pdf](http://corporate.disney.go.com/media/corporate/compliance/languages/Code_of_Conduct_English.pdf)
- » Mattel：  
<http://corporate.mattel.com/pdfs/GMPoverview.pdf>
- » Hasbro：  
[www.hasbro.com/corporate/corporate-social-responsibility/Global-Manufacturing-Ethics-Principles.cfm](http://www.hasbro.com/corporate/corporate-social-responsibility/Global-Manufacturing-Ethics-Principles.cfm)
- » Time Warner：  
[www.timewarner.com/our-company/corporate-responsibility/global-supply-chain/ethical-sourcing-guidelines/](http://www.timewarner.com/our-company/corporate-responsibility/global-supply-chain/ethical-sourcing-guidelines/)

## 2. 改善領域の把握のための業務調査

ライセンシーは、サプライチェーンにおける社会および環境基準の遵守を促進するにあたり、決定的に重要な役割を果たしている。工場選定、購買過程、コンプライアンスの監視および是正に関する方針と手順を実施することにより、ライセンシーは、社会および環境実績の改善に貢献できる。

### 2.1 行動規範と実施要件を伝達する

コミュニケーションは、期待される水準を設定する場合、およびコンプライアンスに焦点を当て続ける場合に重要な役割を果たしている。供給業者、下請業者および代行業者に対し、可能な限り早い段階で、また関係の全体で可能な限り一貫して、自社の要件に関する情報を提供すべきである。

#### ライセンシーのための実践的ヒント

- » 自社の行動規範を公開ウェブサイトまたは供給業者のポータルサイトに公表し、工場への最初のまたその後の連絡メールに行動規範へのリンクを入れる。
- » 通常、対面で業務を行っている場合は、ハードコピーを持参し、社会および環境基準に対するコミットメントを説明し、話し合う。
- » ライセンサーの期待に応えるにあたっての課題に関し、ライセンサーと話し合う。これらの課題について必ずライセンシングとコンプライアンス両方のスタッフと話し合う。

### 2.2 工場選定および契約締結過程の一部としてコンプライアンスを組み入れる

工場の選定および契約締結過程に社会および環境基準の監視を組み込むことでコンプライアンスを最も確実かつ効果的に行うことができる。

下記の実践は、取引関係を開始する時点で期待される実績を設定し、社会および環境基準を維持することに対するコミットメントと能力を有する工場との関係を構築することにより、その後時間と労力を節約できるようにする。

#### ライセンシーのための実践的ヒント

- » ライセンス商品の生産にかかるすべての事業体の事前承認手順を確立する。工場と取引することに同意するまたは契約書に署名をする前に、過去の監査報告書（入手可能な場合）を検討し、または受け入れられる実績の水準に達していることを実証する監査を行うよう工場に求める。供給業者を選定するまたは発注する前に、ライセンサーに下記の質問をする。
  - ライセンサーは過去にこの施設を監査したことがあるか。
  - 監査したのであれば、それはどのくらい前で、その結果はどうであったか。
  - 重大なコンプライアンス違反が確認された場合、それはいつ、どのように是正されたか。
  - その施設はコンプライアンス違反を理由に契約を解除されたことがあるか。
  - ライセンサーはライセンス製品を生産することをこの施設に承認しているか。
- » 国および現地の法律および規則ならびに国際的な社会および環境基準、ならびに自社の行動規範の遵守を求める条項を、工場との契約に入れる。

- » さらに、工場に立ち入る権利を監査人に与える条項、および下請業者を使うことを生産開始前に通知するよう施設に求める条項も入れる。
- » 契約を確定するまたは発注する前に、工場のコンプライアンスを検討する同様の責任を果たすよう、代行業者に求める。

### 2.3 契約条件に基づき、工場の費用構成の比較検討する

安定的かつ効率的で、経済的に健全な企業は、社会および環境に関する義務を最も望ましい形で果たすことのできる企業である。弱小な企業は、費用節減のため社会的責任について「手抜き」をする可能性がある。

#### ライセンシーのための実践的ヒント

物品およびサービスのため頼みとする企業が、健全な企業として経営され、社会および環境行動規範を確実に守ることができるために十分なリソースを有していることを確認する。

### 2.4 過剰な超過勤務からの影響を最小限にするため注文変更を削減する

生産工程の遅い段階で注文を変更すると、コンプライアンスに悪影響が及ぶおそれがある。例えば、よくあることだが、注文の仕様が変更となったものの、出荷の最終期限は変わらない場合、工場はシフトの時間延長を求め、その結果、労働者に過剰な超過勤務をさせることにより、その最終期限を守ろうとするかもしれない。注文変更の頻発を点検し、可能な場合には注文変更を最少にするため、顧客やスタッフと協力すべきである。超過勤務が必要なときは、工場が法定限度を守り、法律により求められる超過勤務の割増賃金をすべて支払うことを確認する。加えて、先に述べたとおり、厳しい最終期限を守るために下請業者の使用する傾向があるので、注意深くモニターリングする。

#### ライセンシーのための実践的ヒント

生産スタッフと供給業者の管理者に、良い計画立案及び調整を通じて注文変更を回避するための手引きを提供する。

### 2.5 ビジネスニーズとコンプライアンスに関し優れた実績を残したビジネスパートナーへの報奨を考慮する

社会および環境コンプライアンスの主要な課題の1つは、認知される十分な誘因がないことである。しかし、コンプライアンス違反は、劣悪な品質、作業停止、注文の打切りなど、実質費用の一因となるおそれがある。

工場、下請業者および代行業者に対して強力なビジネス・ケースを作るために、社会および環境コンプライアンスについて一貫して優れた実績を示したビジネスパートナーに報いることを検討する。例えば、最高実績の工場に発注することをバイヤーに奨励する優先工場プログラムを実施し、または最高実績の工場には他の工場より有利な契約条件を提供することができる。

### 2.6 主要なビジネスパートナーと長期的関係を構築し維持する

社会および環境コンプライアンスは、ライセンシング産業にとって長期にわたり優先事項であり続けている。効果的なコンプライアンスのシステムを確立するには、時間とリソースが必要である。しかし、ライセンシング関係が非常に多種多様で、一部のケースでは「ロータッチ」（つながりが弱い）という性質を持つため、労働条件を管理し、コンプライアンスを効果的に監督するために協力することにおいて、課題が生ずるおそれがある。

長期的な取引関係は、コンプライアンスの改善に対する障壁のいくつかを越えるために役立つ可能性がある。例えば、強固な長期的関係は、調整を容易にし、信頼を深めることにつながり、共同出資の可能性や労働条件の改善による利益をもたらす。

### ライセンサーのための実践的ヒント

- » 社会および環境コンプライアンスに対するコミットメントを共有するビジネスパートナーを選び、これらと長期的な関係を築く。
- » 多くのライセンサーは、不透明性、すなわち虚偽の情報を提供することに対し、ゼロ・トレランスの限界点を設定している。良好なコンプライアンスという虚偽の情報を提供するより、コンプライアンス違反の事例とそれらを是正するための行動を開示する方が良い。

### 2.7 製品設計の際、社会および環境問題へ配慮する

一部の企業は、環境に影響を及ぼす範囲を最小限にし、人権侵害を回避し、原料の供給源の長期的な利用可能性と持続可能性を考慮に入れるため、これまでとは異なる方法で製品設計を行うことを始めている。製品を大規模に製造するためにどのようなリソースが必要か、材料はどこから調達するか、社会および環境にどのような影響を及ぼすかについての討議に製品設計者が参加することは、悪影響を回避するのに役立つ可能性がある。社会および環境に影響を及ぼす範囲を軽減するためにどのような選択肢があるかを設計者が評価するのを手助けすることができる。

### 2.8 現行の業務の評価を通じて、改善点を特定する

ライセンサーの期待に応えるための第一歩は、現在の管理慣行の長所と短所を評価し、改善すべき領域を特定することである。次頁の表には、ライセンシング産業の社会および環境コンプライアンス・プログラムの基礎である、期待される最低水準と優れた実践が記載してある。改善すべき領域を特定するためにこの表を使用していただきたい。

## 自己評価および改善マトリックス

テーマ	期待される最低水準	優れた実践
<b>コミットメント</b> 製造や調達の行動規範など、社会および環境コンプライアンスに関する方針	社会および環境基準を維持するとのコミットメントを明記した公式文書がある。	方針は全社として十分認識されており、従業員はこれを社風の重要な要素と考えている。
<b>理解</b> 主要なコンプライアンスの問題と、それが業務やサプライチェーンにおいてどのように現れるかを理解する	ライセンス製品の全製造業者を識別し、コンプライアンス違反の傾向を特定することができる。	サプライチェーンと主要なコンプライアンスの問題の確実な理解を積極的に追求している。
<b>エンゲージ</b> コンプライアンスに関する意思決定者とやり取りをし、調整する	プラント管理者と供給業者の上級管理者は、コンプライアンスの目標を認識し、これを支持している。 施設は、監視と是正活動に協力している。	プラント管理者と供給業者の上級管理者は、社会および環境コンプライアンスの監督に積極的にかかわっている。 施設は、管理システムの改善を実施し、先を見越してコンプライアンスの課題と進捗状況を伝えている。
<b>監督</b> リソースをコンプライアンスに充てる	ライセンサーの上級管理者には、定期的にコンプライアンスの状況の最新情報が提供される。 供給業者、下請業者および代行業者は、行動規範が期待している事項を発注前に確認し、監視や是正に協力する。	供給業者、下請業者および代行業者は、能力向上活動、例えば研修プログラムやセミナーに参加する。

ライセンサーは、社会および環境コンプライアンスに関する現在の長所と短所を理解するのに協力できる。

ミーティングなどを通じて、現在の管理慣行について話し合い、改善すべき領域に関するフィードバックを求める。

### 自己評価を援助するツール

- » **自社業務の自己評価** : SAI Social Fingerprint [www.socialfingerprint.org/](http://www.socialfingerprint.org/)
- » **購買管理の自己評価** : BSR および Global Compact 「サプライチェーンの持続可能性：継続的改善に向けた実践的指針 (Supply Chain Sustainability: A Practical Guide to Continuous Improvement)」 <http://supply-chain.unglobalcompact.org/>

### 3. 綿密なサプライチェーン計画

コンプライアンスのリスクには、業務に関するリスク、ビジネスパートナーのリスク、製品に使用する材料の供給源のリスクが含まれる。

#### 3.1 制限対象国に生産場所を置くことを回避する

米国を含む国の政府は、テロ対策または麻薬撲滅プログラムの一環として、いくつかの国からの輸入を制限している。包括的な（全製品を対象とする）制限と選択的な（特定の種類の製品を対象とする）制限がある。加えて、一部のライセンサーは、法令遵守、または社会および環境コンプライアンス上の不備を理由に、自社のライセンス製品を特定の国で製造することを禁止している。

##### ライセンシーのための実践的ヒント

- » 特定の国での製造を制限しているかをライセンサーに尋ねる。
- » 国別の制裁に関する情報を政府の公式ウェブサイトで調べる。例えば、米国財務省外国資産管理局（Office of Foreign Assets Control within the U.S. Department of the Treasury）は、制裁プログラムおよび国別情報（Sanctions Programs and Country Information）のリストを提供している。

[www.treasury.gov/resource-center/sanctions/Programs/Pages/Programs.aspx](http://www.treasury.gov/resource-center/sanctions/Programs/Pages/Programs.aspx)

#### 3.2 リスクの地域差を認知する

一般に、コンプライアンス違反の問題を抱えている工場は、発展途上国と先進国の両方にある。しかし、発展途上国では、法執行が相対的に不十分であることにより、コンプライアンスを達成するための課題は、先進国より多い。様々な国または地域でのコンプライアンス違反のリスクの可能性を示す指標として一般的に役立つリストとランキングがいくつある。下に列挙するリソースは、コンプライアンスの取組みにおいてどこに焦点を当てるかを決定するのに役立つかもしれない。

- » OECD 加盟国対非加盟国：  
[www.oecd.org/document/58/0,3746,en\\_2649\\_201185\\_1889402\\_1\\_1\\_1\\_1,00.html/](http://www.oecd.org/document/58/0,3746,en_2649_201185_1889402_1_1_1_1,00.html/)
- » Transparency International 腐敗認知指数（Corruption Perceptions Index）：  
[www.transparency.org/policy\\_research/surveys\\_indices/cpi/2010/results/](http://www.transparency.org/policy_research/surveys_indices/cpi/2010/results/)
- » Freedom House：[www.freedomhouse.org/template.cfm?page=363&year=2011/](http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=363&year=2011/)
- » 国連人間開発指数（Human Development Index）：  
<http://hdr.undp.org/en/statistics/hdi/>
- » Social Hotspot データベース：<http://socialhotspot.org/>
- » 国および問題別報告およびリソース：
  - Amnesty International：[www.amnesty.org/en/human-rights/](http://www.amnesty.org/en/human-rights/)
  - Human Rights Watch：[www.hrw.org/world-report-2011/](http://www.hrw.org/world-report-2011/)
  - 米国国務省（US State Department）：[www.state.gov/g/drl/rls/hrpt/](http://www.state.gov/g/drl/rls/hrpt/)
  - 労働組合：<http://survey.ituc-csi.org/>
- » 世界銀行（World Bank）ガバナンス指標（Governance Indicators）：  
<http://info.worldbank.org/governance/wgi/index.asp>

様々な種類の製品や生産工程に固有のリスク、また特定の供給業者の過去の実績を考慮することも重要である。コンプライアンスの取組みに優先順位をつけるためのリスクに関する情報を入手できるか、ライセンサーに尋ねていただきたい。

### 3.3 主要な原料供給源とリスクを監視する

消費財の「上向流れ」サプライチェーンにおける原料の採取と加工に関する重大な社会および環境面のコンプライアンスについての懸念が高まっているのは明らかで、人目に触れる機会も増え、政府の規制も強化されている。これは、ライセンシング産業で重大な問題として近年の課題となっている。最大手のライセンサーさえもが、原料に関する社会および環境問題を特定し理解するという難題に直面し、依然としてこれらの問題にいかに対処するかを学んでいる。

ライセンシーは、これらの懸念を認識し、ライセンサーが原料に関する特定の要件を有しているか否かを理解すべきである。ライセンサーが原料問題の管理に関して要求することも変化し進化する可能性があるが、ライセンサーが行動に出る前に、該当政府がすでにライセンシーの行動を規制しているかもしれない。

#### 原料ならびに関連する社会および環境リスク

材料	リスク	場所
牛肉、パーム油および大豆	森林伐採および生息環境の破壊 劣悪な労働条件	南アフリカおよび東南アジア
ココア	児童労働の利用	西アフリカ
綿花	児童労働の利用 殺虫剤の使用が健康に与える影響 水資源の枯渇	ウズベキスタン
銑鉄	強制労働の利用	ブラジル
レアアース鉱物	環境および健康に対する深刻な影響	中国および東南アジア
海産食物	漁場の枯渇	全世界
タンタル、スズおよびタンクスチタン	紛争および人権侵害の一因となる取引	コンゴ民主共和国
木材（紙および包装）	森林伐採および生息環境の破壊 劣悪な労働条件 土着民または森林に依存する住民に対する悪影響	南アフリカおよび東南アジア
石油化学製品およびエネルギー生産	スタッフや財産のセキュリティを含む危険な労働条件 気候変動	全世界

注：これは網羅的なリストではない。

#### ライセンシーのための実践的ヒント

- » 原料の供給源を理解しようとする（地域と産業構造の両方の点で）。
- » 問題の多発地域を認識し、それらの展開について随時情報を得る。
- » ライセンサーが方針または手引を提供できるかを確認するために、ライセンサーと連絡を取る。

原料の供給源について知識がない場合や供給源と接触がない場合は、供給源を追跡することや施設での社会および環境問題の遵守状況を監視することは困難で、時間がかかる可能性がある。下記のような数多くの商品および製品別イニシアティブが役立つだろう。

- » Responsible Sourcing Network (As You Sow のプロジェクト) :  
[www.sourcingnetwork.org](http://www.sourcingnetwork.org)
- » Round Table on Responsible Soy Association : [www.responsiblesoy.org](http://www.responsiblesoy.org)
- » Round Table on Sustainable Palm Oil : [www.rspo.org](http://www.rspo.org)
- » Sustainable Agricultural Network 畜産農場の認証基準 (Certification Standard for Cattle Farms) : <http://sanstandards.org/sitio/>
- » Forest Stewardship Council : [www.fsc.org](http://www.fsc.org)

## 4. ライセンサーへの施設報告

多くのライセンサーは、自社の社会および環境コンプライアンス・プログラムの一環として、ライセンス製品が生産される施設に関する情報を提供するようライセンサーに求める。加えて、この報告は通関要件に関連する可能性があり、通関目的でこれを求めるライセンサーもいる。施設を報告することについて、ライセンサーには様々な（またさらに広範囲の）要件があり得る、ということに留意していただきたい。

### 4.1 ライセンサーに報告すべき内容を把握する

ライセンサーは、開示に関して様々な要件を設定している。ライセンサーは、工場の名称、場所、状況、その他下記の事項などを開示する用意をしなければならない。

- » 完成品の製造業者
- » ライセンサーの知的財産が存在している場所
- » 生産その他の目的での下請業者
- » 特定の品目および商品の構成要素または原料の供給業者
- » 印刷および刺繡など装飾供給業者
- » 包装、梱包、倉庫保管および発送供給業者、ならびにサービス提供業者

#### ライセンシーのための実践的ヒント

いつ何を開示することを求められるかを知るために、ライセンサーと相談し、ライセンス契約書をよく調べる。

### 4.2 ライセンサーのブランド製品を製造している施設の名称と場所を把握する

ライセンサーは、ライセンサー・ブランドの製品を製造している施設の正確な最新の記録をつけるべきである。このライセンサーの契約要件は、ライセンサーがコンプライアンスを監督するために役立つことが多い。この識別情報には、下記の項目を入れるべきである。

- » 施設の名称
- » 通称、すなわち営業上の名称
- » 所在地（階または建物番号を含む）
- » 電話番号
- » 電子メールアドレス

#### ライセンシーのための実践的ヒント

- » ライセンサーのブランド製品を製造するにあたり役割を果たすすべての施設および事業体の証拠書類を保管する。
- » 工場を開示するライセンシーの要件およびシステム（ライセンサーに工場の情報を提供するために、先を見越してライセンサーに連絡すべきか、またどのように連絡すべきかを含む）に精通する。
- » ライセンサーとの個別の契約に関する供給業者、下請業者および代行業者のリストをライセンサーに（通知があり次第）提供できる必要がある。

#### 4.3 下請業者を利用しているかモニターリングする

生産工程のいずれかの要素を下請けに出す前に知らせるよう、供給業者、下請業者および代行業者に求める。人材派遣会社は特に、人権侵害や労働基準違反の危険がある。供給業者が人材派遣会社を利用するときは、通知するよう求める。

工場が利用する廃棄物運搬人、ロジスティクス提供業者およびその他の第三者のリストを作成しておくことも、有用であろう。ほとんどのライセンサーはこれらを通知することを求めるが、これらの業者も、社会および環境基準のコンプライアンス違反のリスクをもたらす。最も優れた実践は、すべてのビジネスパートナーをリスク評価の対象に含めることである。

発注する前に下請業者の監査を行うよう、供給業者、下請業者および代行業者に求める。

##### ライセンシーのための実践的ヒント

供給業者を選定するまたは発注する前に、下記の質問をすることによりライセンサーと相談する。

- » ライセンサーは過去にこの施設を監査したことがあるか。あるいは、工場には共有できる最近の監査結果があるか。
- » 監査が行われたのであれば、それはどのくらい前で、その結果はどうであったか。
- » 重大なコンプライアンス違反が確認された場合、それはいつ、どのように是正されたか。
- » その施設はコンプライアンス違反を理由に契約を解除されたことがあるか。
- » ライセンス製品の生産はこの施設で行うことができるか。

社会および環境コンプライアンス監査の結果を含む詳細な工場の情報が入った数多くの会員データベースは、供給業者、下請業者および代行業者についての記録（最近のコンプライアンス・データを含む）にアクセスし、これらの記録を保持するために有用であろう。

- » SEDEX（いずれの業界または製品の種類も）：[www.sedexglobal.com](http://www.sedexglobal.com)
- » Fair Factories Clearinghouse（いずれの業界または製品の種類も）：[www.fairfactories.org/Main/Index.aspx](http://www.fairfactories.org/Main/Index.aspx)
- » EICC（電子機器）：[www.eicc.info](http://www.eicc.info)
- » GESI（電子機器）：[www.gesi.org](http://www.gesi.org)
- » Better Work（アパレル）：<http://www.betterwork.org/EN/Pages/newhome.aspx>

## 5. 施設の社会および環境コンプライアンスの評価

工場の監視は、ライセンサーの監査スタッフ、ライセンシーの監査スタッフ、第三者監査人、多数利害関係者のイニシアティブ、または業界グループが行うことができる。監査の範囲、継続期間および重点項目は、実に多様である。ライセンサーの監査要件と手順を理解すること、また供給業者、下請業者および代行業者がこれらの監査を理解し、監査に備えるのを援助することが、決定的に重要である。

監視の優れた実践には、下記のものが含まれる。

- » 供給業者と契約を締結し、供給業者に発注するかなり前に、監査を求めるかまたは過去の監査結果を検討する。
- » 継続的な関係を有する供給業者には、コンプライアンス違反のリスク、管理慣行の状況、およびコンプライアンスの経験に応じて、例えば6か月ごとから1年ごとまたはこれより低い頻度で定期的に監査を求める。監査の頻度についてのライセンサーの要件は、様々であろう。
- » 社会および環境コンプライアンス監査は、一連の特定の技能、専門知識および訓練を要する。品質監査の経験だけでは十分でない。一般に、専任の社会および環境監査機能を有する企業は、これを有しない企業より一貫性があり、かつ工場管理に対しより大きな影響を及ぼす監査とフォローアップを行うことができる。しかし、監査機能の構築と維持には時間とリソースを要する。したがって、最初は、社会および環境監査を専門とする社外の監査事務所に頼る必要があるかもしれない。
- » 社会および環境責任は、業界にとって長期的な優先事項である。今後数年間にわたり調達先とすることを予定している国または地域で、コンプライアンス監査チームを結成することを検討していただきたい。
- » ライセンサーが供給業者の監査を要求するとき、監視の履歴を検討し、この履歴に照らして最善の一連の行動についてライセンサーと話し合っていただきたい。

### 5.1 社会コンプライアンス監査

社会コンプライアンス監査は通常、労働基準と業務上の安全衛生の問題に焦点を当てる。これらには下記が含まれるであろう（下記に限らない）。

#### 労働基準および人権

- » 自発的に選択した雇用（強制、奴隸、非自発的または囚人労働でない）
- » 児童労働および若年労働者
- » 労働時間、賃金および手当
- » 人道的処遇
- » 差別撤廃
- » 結社の自由
- » 団体交渉
- » 苦情処理制度
- » 労使委員会
- » 嫌がらせ

#### 業務上の安全衛生の問題

- » 業務上の安全
- » 火災安全

- » 緊急時への備え
- » 労働災害による傷害／職業病
- » 労働衛生
- » 肉体的にきつい仕事
- » 機械の安全装置
- » 生活環境

社会コンプライアンス監査は、優れた実践に基づくものとし、1) 経営陣の面接、2) 労働者の面接、3) 施設および寮の視察、ならびに4) 書類の点検などを組み込むべきである。

### 1. 経営陣の面接

経営陣の面接中、監査人は、社会コンプライアンスを確実にするための方針と実施手順を経営陣とともに検討する。

- » 監査人は、社会コンプライアンスに対する経営陣の理解とコミットメントを評価すべきである。
- » 加えて、監査人は、社会コンプライアンスの方針が実施されているか否か、どのように実施されているか、それらは実際に実行されているか否かを、手順、責任および管理の点検により評価すべきである。例えば、経営陣は、新人労働者が最低年齢要件を満たしていることを確実にするためにその新人の身分証明書類をチェックするよう、人事スタッフに指図しているか否か、また、経営陣は、これをすることについて人事部に説明責任を負わせているか否かを、監査人は判断すべきである。
- » 加えて、監査人は、経営陣がコンプライアンスの課題に関し隠し立てをせず誠実であるかを知ろうとすべきである。

### 2. 労働者の面接

労働者は、社会コンプライアンスの中心である。社会コンプライアンスの「核心」を構成するのは、労働者の職場での経験と労働者がどの程度自分の権利を享受し責任を果たすことができるかである。労働者の内密の面接は、生産ラインの状況を理解する上で不可欠である。優れた実践に基づく社会コンプライアンス監査は、下記の特徴を有する。

- » 労働者は、監査チームにより無作為に選出される。
- » 面接は、工場監督者または管理者が不在の場で行う。
- » 面接は、監査人が現地の言語で、非公開の快適な環境で行う。
- » 労働者は、面接に参加したことで報復を受けないよう保護される。
- » 面接は、職場の内外のいずれでも行うことができる。
- » 面接する者の選出は、誰が誰を面接するのかについて性別や文化的水準を考慮すべきである。すなわち、女性監査人が女性労働者を面接する。

### 3. 視察

監査チームは、施設を見て回り、生産ライン、管理エリア、発着ロジスティクスおよび倉庫、保守区画、水処理施設および廃棄物処理エリア、化学薬品保管エリア、軽食堂、敷地内診療所、ならびに敷地内または隣接の寮を視察する。監査人は、特定のコンプライアンス項目とともに施設の全体的な状況を確認していく。監査人は特に、安全衛生上の潜在的な危険、例えば封鎖された非常口に焦点を当てる。適切な方針と手順に従い、適切な機材を使用することに加えて、十分に保守がなされ整然とした施設を運営することは、コンプライアンスに従っているということを実証するために必須である。

#### 4. 書類の点検

監査人は、コンプライアンスを評価するために施設の記録保管システムおよび記録を点検する。特に監査人は、支払台帳および給料明細書、人事記録、ならびに事故および傷害記録を点検することに焦点を当てる。多くの工場は、コンプライアンスに従っていることを実証する正確な最新の記録を維持することに関し、常時課題を抱えている。系統立った正確、適時かつ完全な一連の記録は、コンプライアンスに従っているということを実証するために必須である。

#### 真偽の確認

施設はコンプライアンスに従っているのを見せようとするが、経験上、特に発展途上国では、いくつかの違反を目にする予想すべきである。しかしながら、監査要件を満たすために一連の虚偽の帳簿を付けることも、全くありふれた慣行として行われており、これらの帳簿は非常に細部にわたり、手が込んでいることもある。

- » コンプライアンス違反の問題は幅広い。ライセンシーは、工場を訪れて監査するときは、油断なく気を配るべきである。
- » 監査は、誰が行うとしても、事実を見るものであり、特定の結果を提供することを期待されるものではない。
- » 監査人は、社会監査事務所、または社会コンプライアンスの長い経歴を有するブランドもしくは小売業者の研修を受け、IRCA または SA8000（付属書の [xref](#) 頁を参照のこと）など何らかの形の認証を有していることが望ましい。
- » コンプライアンス違反が多い地理的な場所または業界で、コンプライアンスは完全という監査結果が出たとき、その結果は疑わしい。賄賂行為、二重帳簿、また職場の一部を隠すことは、一部の事例ではごく普通に行われている。

#### 5.2 環境コンプライアンス監査

環境コンプライアンス監査は、施設の環境管理システムおよび実績を評価することを意図している。これは、経営陣の面接、視察および書類の点検を行うという点で、社会コンプライアンス監査と類似しているが、下記など焦点を当てる一連のテーマが異なっている。

- » 環境に関する許可
- » 汚染防止のための統制
- » 有害物質、廃水および固体廃棄物の管理
- » 大気中放出物の統制
- » 製品の成分の明細
- » 保全と効率のためのエネルギーおよび水資源の管理

環境コンプライアンス監査が扱うテーマの多くは、高度に技術的である。環境管理の知識と責任を有する施設スタッフが、監査の準備と実施中に監査チームを援助するために対応できること、例えば、監査チームが施設を見て回るときに同行し、証拠書類を提供するなどは、決定的に重要である。

#### 5.3 監査報告書が何を意味しているかの理解

監査が終了したとき、監査人は通常、確認された個々のコンプライアンス違反とそれらを是正するために施設が取らなければならない行動を詳述する予備報告書を発行する。監査人は、確認されたコンプライアンス違反に対処するために施設が取ることのできる行動の種類についての手引を提供する場合もある。

#### 代表的な監査報告書の構成要素

- » 工場の名称、主な連絡先、場所、現場の配置、製造する製品の種類、労働者のデモグラフィクス、およびその他の背景情報など、施設の情報

- » 監査チームの構成員の氏名、監査の日および期間、監査は公表されたか否か、監査活動の概要など、監査自体に関する詳細
- » 行動規範の要件に関する証拠および分析を含め、監査で確認されたこと
- » ライセンサーおよび顧客の連絡先情報

#### 5.4 腐敗、賄賂行為および詐欺的記録に関する統制

腐敗は、顧客と供給業者の関係に悪影響を及ぼし得る重大な問題である。これは、コンプライアンスの問題を特定するコンプライアンス監査の手法の有効性を損なう、目に見えない問題である。

腐敗防止プログラムの特徴として、下記などがある。

- » 腐敗に対するゼロ・トレランスの全社的な表明。供給業者の行動規範、契約要件および研修に組み込み、またこれらを通して適用される。
- » スタッフ構成員の教育
- » 賄賂行為が疑われるケースおよびその他の事例を報告・処理する手順
- » 契約締結および支払手順の定期的な見直しなど（例えば内部監査）、購買慣行の統制

#### 5.5 真偽の確認：監査の限界

社会監査が始まってから 15 年を経て、多くのライセンサー、小売業者、ブランドおよびサプライチェーンのコンプライアンス専門家は、社会監査が特定し達成できるものには限界がある、という点で意見が一致している。例えば、ほとんどの監査は特定の期間を対象としており、長期間にわたって施設に行動規範の基準を遵守する全般的な能力があるかどうかを調べるという意味合いは、必ずしもない。加えて、ほとんどの監査は労働者の権利侵害の根本原因を特定しない。根本原因を特定するには、「管理システム」の観点に立つ監査手法を用いる必要がある。

- » 監査自体は改善を推進しない。監査は必要性の評価であって、解決策ではない、と考えていただきたい。
- » 監査は、「家父長的」 - 問題を発見するためのトップダウンの手法 - と見られるかも知れない。評価と解決のプロセスに工場従業員を参加させる方法を探るべきである。
- » これらの限界にもかかわらず、社会監査は普及しており、容易に実施できる。広く受け入れられる他の選択肢がない場合、監査は、労働条件を理解するための共通の手法を与え、改善に向けたロードマップを提供する。

#### ライセンサーのための実践的ヒント

- » ライセンサーが誰からの監査報告を受け入れるかを尋ねる。一部のライセンサーは、他の事務所または企業が行った監査報告を受け入れる（教育を受けた信頼できる当事者が行った適時の監査である場合）。
- » ライセンサーの監視プログラムの範囲を理解する。例えば、一部のプログラムは労働基準のみに焦点を当てている。環境コンプライアンスが監査の一部である場合、チェックすべき特定の事項（例えば環境に関する許可、水の利用および排出、廃棄物処理など）を特定する。
- » 監査は、時間とリソースの点で負担となる可能性がある。施設の管理者と供給業者の管理者が監査の準備をするのを手助けする取組みは、時間の節約になる。
- » 自社の監視プログラムについて、ライセンサーまたは社会監査事務所と相談する。
- » 監査が行われた状況を理解する。
- » 監査手順を検討し、それらがライセンサーの要件を満たし、優れた実践に沿ったものであることを確実にする。

## 6. 労働条件を是正・改善する

社会および環境に関する期待に対するコンプライアンスは、一時的に達成するものではない。これは、継続的な行動とフォローアップを要する持続的な優先事項である。ライセンサーは、監査の結果を基にライセンサーの要件を満たすような行動計画を作るため、工場と協力するすべきである。

是正行動計画は、是正目標および行動を定め、これを追跡する助けとなる。これらの計画は、確認されたコンプライアンス違反を是正するための具体的な行動を詳述し、コンプライアンスの達成についてのアカウンタビリティを確実にするため、責任者と最終期限を指定する。下の表は、想定されるいくつかのは正行動を例示している。

### 是正行動計画の代表的な構成要素

#### 是正行動計画例の要素

» 以下の項目は、想定されるいくつかのは正行動を例示するものである。

行動規範の条項	行動項目	最終期限	責任者	注記
児童労働	身元確認書類に関する方針を変更する	30日	X 工場の人事部長	確認されたコンプライアンス違反を終息させるために十分な証拠書類のチェック
児童労働	契約書に署名をする前に新人従業員の最低年齢を検証する	30日	X 工場の人事部長	確認されたコンプライアンス違反を終息させるために現場検証をする

ライセンサーは、下記のために監査報告書を検討すべきである。

- » 報告書に記載されているコンプライアンスの最優先の問題を特定する。
- » 工場のコンプライアンス違反の領域を検討し、その問題にどう対処するかについて工場から書面でコメントを得る。
- » 是正行動を追跡するために工場のフォローアップを行う。
- » 監査結果と是正行動に基づく処置の詳細をライセンサーと共有する。

#### ライセンサーのための実践的ヒント

確認されたコンプライアンス違反の根本原因を調査し、例えば監査中に見つかった不整合などの問題を是正するために施設の管理者と協力する。「不当な低賃金」または「長過ぎる勤務時間」が、監査結果の根本原因なのか？もしライセンサーが問題に対処するためには何が必要なのか知っている場合は、是正計画を作成することもできる。

監査に加えて、コンプライアンス違反を特定し解消するためのその他の技法を検討する。

- » 信頼できる有効な労働組合の運営を支援する。
- » 労働組合の運営が実行可能でない場合、参加方式の労働者協議会や苦情処理制度の設立と維持を支援する。
- » 工場監督者やその他の関連する工場従業員の研修を促進する。
- » 工場に関し、優れた社会および環境実績に対する正負の誘因を特定する。

## 7. 将来に向けて

過去数年間にわたり、環境および社会コンプライアンスというテーマは、企業リーダー、特にライセンシング産業のリーダーの議題として取り上げられてきた。ライセンス産業において、社会および環境基準のコンプライアンス違反の根本原因に対処する戦略を定め、プログラムを実施している企業は、次第に増加している。

ライセンシング・ワーキング・グループは、ライセンシング産業全体で環境および社会基準を推進するグループの活動に参加するよう、ライセンサーに勧めている。一連のウェビナーおよびセミナーならびに本指針をまとめ上げた同グループは、引き続きリソース、助言およびネットワーキングの機会を業界参加者が利用できるようにしていく。

参加するには：

- » BSR のウェブサイトを訪れるごと。  
[www.bsr.org/en/our-work/working-groups/licensing-working-group](http://www.bsr.org/en/our-work/working-groups/licensing-working-group)
- » 自社の手法をいかに改善するかについて討議を始めるために、本指針へのリンクを同僚、ライセンサーおよび小売業者に送る。
- » 詳しくは、BSR に問い合わせのこと。[www.bsr.org/en/about/inquiry-form](http://www.bsr.org/en/about/inquiry-form)

## 付属書：リソースの概要

下記の組織は、社会および環境コンプライアンスの側面に焦点を当てている。本文書に記載したことにより、BSRはこれらの組織またはプログラムを保証するものではない。

### Better Cotton Initiative (BCI)

**説明**：BCIは、全世界での綿花栽培を経済的、環境上また社会的に一層持続可能なものとするため、その主要な環境および社会的影響の相当な改善を促進することを目指す。綿花栽培をめぐる市民社会やメディアからの圧力が強まったため、BCIは、主流の綿花部門の問題解決を容易にすべく、綿花のサプライチェーンおよび利害関係者のあらゆる組織と協力してきた。

**行動規範**：BCI生産原則（Production Principles）は、農場主の管理下にあり、「より良い」綿花の生産のため農場主が対処する必要のある広い領域について述べている。同原則は、社会的問題と環境上の問題の両方を扱っている。

**参加バイヤー**：adidas、Asda、Hemtex、H&M、IKEA、KappAhl、Levi Strauss & Co.、Lindex、Marks & Spencer、Migros、Nike および Sainsbury's Supermarkets。  
[www.bettercotton.org/index/188/bci\\_members.html](http://www.bettercotton.org/index/188/bci_members.html)

**対象業界**：アパレルおよび家庭用品

**ウェブサイト**：[www.bettercotton.org](http://www.bettercotton.org)

### Better Work

**説明**：Better Workは、評価、是正および工場内研修手段の包括的なプロセスを通して、貧困を減らし、発展途上国におけるグローバリゼーションの公正な枠組みを提供することを特定の目的とする、国際労働機関（ILO）と国際金融公社（International Finance Corporation : IFC）の独自のパートナーシップである。企業は、供給業者のコンプライアンスに関する情報を入手し、問題を調整する取組みを追跡するための、合理化されたより費用効果的なプロセスを利用する機会を与えられる。Better Workのバイヤーズ・フォーラム（Buyers' Forums）は、国際的レベルと国内レベルで開催される。これらのフォーラムは、Better Workの拡大計画や手段にフィードバックを提供する機会、また国の政府、組合および製造業者団体を含む利害関係者との建設的な対話に参加する機会をバイヤーに提供する。カンボジア、ヨルダンおよびベトナムで活発な国内フォーラムが行われており、Better Workは現在、インドネシア、モロッコ、ニカラグア、ハイチおよびレソトで拡大の取組みの可能性を探っている。

**行動規範**：なし

**参加企業**：Abercrombie & Fitch、adidas、Children's Place Retail Stores、Gap、H&M、Jones Apparel Group、Levi Strauss & Co.、Marks & Spencer、Phillips-Van Heusen、PUMA、Sears、Shane-Hunter、Walmart および The Walt Disney Company 等。  
[www.betterwork.org/public/global/international-buyers/participating-buyers-1](http://www.betterwork.org/public/global/international-buyers/participating-buyers-1)

**対象業界**：現在はアパレルだが、拡大中

**ウェブサイト**：[www.bsr.org/consulting/working-groups/better-work.cfm](http://www.bsr.org/consulting/working-groups/better-work.cfm)

### Business Social Compliance Programme (BSCI)

**説明**：BSCIは、すべての供給国およびすべての消費財の社会基準を監視・改善するための、小売業者、工業および輸入企業の欧州共通のプラットフォームである。

**行動規範**：The BSCI Code of Conduct：[www.bsci-intl.org/our-work/bsci-code-conduct](http://www.bsci-intl.org/our-work/bsci-code-conduct)

**参加企業**：Batavia、Delhaize Group、El Corte Ingles、Focus Nordic、Karstadt Warenhaus GmbH、Medisana、Pepe Jeans London、Royal Ahold NV、Singer および Tristar Europe その他を含む 700 社を超える企業。[www.bsci-intl.org/about-bsci/participants-intro](http://www.bsci-intl.org/about-bsci/participants-intro)

**対象業界**：多数の業界

**ウェブサイト**：[www.bsci-intl.org](http://www.bsci-intl.org)

### **Electronic Industry Citizenship Coalition (EICC)**

**説明** : EICC は、全世界の電子機器業界の管理体制、労働基準、業務上の安全衛生および環境への影響を改善することを目指す業界イニシアティブである。

**行動規範** : The EICC Code of Conduct : [www.eicc.info/EICC%20CODE.htm](http://www.eicc.info/EICC%20CODE.htm)

**参加企業** : 電子機器のあらゆるサプライチェーンの 50 社を超えるメンバー (Dell、HP、Intel、Microsoft、STMicroelectronics およびソニーその他のバイヤーを含む)

**対象業界** : 電子機器

**ウェブサイト** : [www.eicc.info](http://www.eicc.info)

### **Ethical Trade Initiative (ETI)**

**説明** : ETI は、労働規約の規定のコンプライアンスを監視・検証することなど、規約の実施における優れた実践を特定し推進するために協力することを確約する、企業、労働組合組織および NGO の連合である。

**行動規範** : [ETI Base Code](http://ETI Base Code) は、労働実践規約であり、国際労働機関 (ILO) 条約に由来する。ETI の法人メンバーは Base Code を採用しなければならない。

**参加企業** : Asda、Boden、The Body Shop International、Burberry Group Plc、Co-operative Retail、Debenhams Retail、Gap、Inditex、Marks & Spencer、Marshalls、New Look Retailers、Next Retail、Pentland Brands、Primark (ABF Limited)、Sainsbury's、Tchibo GmbH、Tesco および WH Smith を含む 50 社を超える法人メンバー。  
[www.ethicaltrade.org/about-eti/our-members/](http://www.ethicaltrade.org/about-eti/our-members/)

**対象業界** : 消費者向け小売

**ウェブサイト** : [www.ethicaltrade.org](http://www.ethicaltrade.org)

### **Fair Factories Clearinghouse (FFC)**

**説明** : FFC は、会員共同体において、費用効果的で十分情報を得た倫理的な企業取引および職場環境の改善を世界中で可能にする技術を提供するために設立された非営利組織である。

**行動規範** : 該当せず

**参加企業** : adidas、ASICS、Burberry、Chico's FAS、Dress Barn、J.Crew、Kellwood、Levi Strauss & Co.、L.L. Bean、Macy's、Mark's Work Wearhouse、New Balance、Nike、Nordstrom、Patagonia、REI、Starbucks、The Jones Group、Timberland および VF Corporation

**ウェブサイト** : [www.fairfactories.org](http://www.fairfactories.org)

### **Fair Labor Association (FLA)**

**説明** : FLA は、世界中の工場の労働条件を改善する会員の共同活動グループである。参加企業は FLA 規約に拘束される。グループは、その基準に達成するための実践的な監視、是正および検証手順を生み出した。

**行動規範** : FLA 職場行動規範 (Workplace Code of Conduct) は、国際労働機関 (ILO) の基準に基づくものである。[www.fairlabor.org/about\\_us\\_code\\_conduct\\_e1.html](http://www.fairlabor.org/about_us_code_conduct_e1.html)

**参加企業** : adidas、Asics Corporation、Barnes & Noble College Booksellers、ChicoBag Company、Follett Higher Education Group、Gildan Activewear、H&M、Hanesbrands、KEEN、Liz Claiborne、New Balance、New Era Cap、Nike、Nordstrom、Patagonia、Phillips-Van Heusen、Puma、Russell Corporation、Syngenta および Tumi。  
[www.fairlabor.org/affiliates.html](http://www.fairlabor.org/affiliates.html)

**対象業界** : ないが、履物とアパレルが中心である。

**ウェブサイト** : [www.fairlabor.org/](http://www.fairlabor.org/)

### **Global Social Compliance Programme (GSCP)**

**説明**：GSCPは、世界中のサプライチェーンの部類および部門全体で労働および環境条件を継続的に改善する、**共有されるグローバルで持続可能な手法**を提供するために、既存の取組みを和合させるというビジョンを有する企業のビジネス主導のプログラムである。GSCPは、既存のシステム間で比較可能性および透明性を確立するために、知識交換と最も優れた実践を促進するグローバルなプラットフォームを提供する。

**行動規範**：GSCPの基準規範は、(共有の規範を作ることよりも)労働基準における最も優れた実践と思われるものを示すことを目指している。

**参加企業**：Alcan Packaging、Best Buy、C&A、Carrefour、Chiquita、Delhaize、Dell、Dole、Hasbro、HP、IKEA、Marks & Spencer、Migros、Monoprix、Phillips-Van Heusen、Tesco、Wal-Mart Stores、The Walt Disney Company および Woolworths。  
[www.gscpnet.com/structure-a-governance/task-force.html](http://www.gscpnet.com/structure-a-governance/task-force.html)

**対象業界**：消費者製品、食品および農業

**ウェブサイト**：[www.gscpnet.com](http://www.gscpnet.com)

### **ICTI (International Council of Toys Industry) CARE**

**説明**：ICTI CAREは、全世界の玩具工場労働者に安全で人道的な職場環境を確保することを目指す玩具業界の倫理的製造プログラムである。この目的を遂げるために、グループは、玩具工場向けの教育、研修および統一された監視プログラムを提供する。

**行動規範**：企業行動規範 (Code of Business Practices) は、コンプライアンスのしるしを獲得するために企業の工場が受けることのできるICTI CARE監査の基礎である。

**参加バイヤー**：ARGOS、ASTRA、Auchan Groupe、Chelsea Stores、Chorion、Colruyt Group、Costco、Hamley's、Marks & Spencer、Sears、Toys"R"Us、VEDES、Walmart、The Walt Disney Company および Woolworths

**ウェブサイト**：[www.icti-care.org](http://www.icti-care.org)

### **国際労働機関 (International Labour Organization : ILO)**

**説明**：ILOは、広範囲の対象を扱う条約および勧告の採択により包括的な国際労働基準を設定している。これらの基準は、国際労働法典 (International Labor Code)とともに一般的に参照される。これらは、米国や中国を含むすべての国が批准したわけではないが、多くの利害関係者は、企業がこれらの基準の適用に向けて進むことを期待している。

**行動規範**：8つの中核的ILO条約は、雇用における差別撤廃、結社の自由、最悪の形態の児童労働の廃止、団体交渉および強制労働など、労働者の基本的権利を扱っている。

**参加企業**：該当せず

**リンク**：[www.ilo.org](http://www.ilo.org)

### **International Register of Certificated Auditors (IRCA)**

**説明**：IRCAは、経営システムの監査人の世界初かつ最大の国際認証機関である。英国で設立されたIRCAは、世界中の150を超える国の14,750人を超える監査人を認証している。

**ウェブサイト**：[www.irca.org/certification/certification\\_10.html](http://www.irca.org/certification/certification_10.html)

### **International Licensing Industry Merchandisers' Association (LIMA)**

**説明**：1985年に設立されたLIMAは、全世界のライセンシング産業の主要な同業者組織である。LIMAの使命は、調査、国内および国際セミナー、同業者イベントならびに出版によりライセンシングにおけるプロ意識を向上させるため、業界の全部門と協力することである。LIMAは、35か国の会員を擁し、ニューヨーク、ロンドン、ミュンヘン、東京、上海および香港に支部を、またヨーロッパ、インド、イタリア、スペインおよびオーストラリアに拠点を置いている。

**行動規範** : LIMA が提供する行動規範に基づき、ライセンス製品の製造業者は、社会的責任を負って倫理的に事業を営むことを求められる。LIMA 企業行動規範 (Code of Business Practices) は、ICTI 規約を手本にしている。

**参加企業** : 全参加企業の名簿は、LIMA のウェブサイトで入手できる。  
[www.licensing.org/database/](http://www.licensing.org/database/)

**ウェブサイト** : [www.licensing.org/about/lima-code-of-business-practices/](http://www.licensing.org/about/lima-code-of-business-practices/)

#### **Portal for responsible supply chain management**

**説明** : このポータルは、実務者がサプライチェーンにおける CSR への自身の取組み方を編み出すのを支援するための有用な手段や情報のメニューを提供する。供給業者研修、行動規範および監査関連文書など、一連の参考資料を特徴としている。

**ウェブサイト** : <http://www.csr-supplychain.org>

#### **Social Accountability Accreditation Services (SAAS)**

**説明** : SAAS は、倫理的労働条件の Social Accountability 8000 基準など社会的基準のコンプライアンスの認証者として、組織を認定・監視するために設立された認定機関である。SAAS は、1997 年に Social Accountability International (SAI) 内の 1 部門として活動を開始し、2007 年に独自の非営利組織として正式に設立された。

**行動規範** : SAAS は、SA8000 基準、InterAction Private Voluntary Organization (PVO) 基準および Business Social Compliance Initiative (BSCI) 行動規範という 3 つの行動規範のうち 1 つまたは複数の要件を満たす工場を認証するために、組織の認定を行う。

**ウェブサイト** : [www.saasaccreditation.org](http://www.saasaccreditation.org)

#### **Social Accountability International (SAI)**

**説明** : SAI は、企業、労働者および NGO で構成される多数の利害関係者、国および業界の組織であり、世界中の労働者の人権向上させることを使命とする。SAI は、研修、能力開発および SA8000 職場基準 (ILO および国連条約に基づく) を通してこの使命を果たす。

**行動規範** : Social Accountability International の SA8000 は、企業および工場が自身の実績を評価するために使用する認められたベンチマークである。SA8000 は、中核的な ILO 条約、国連の児童の権利に関する条約、および世界人権宣言の原則を基礎としている。

**対象事項** : 労働者の権利および労働条件

**参加企業** : 全世界の何千もの企業が SA8000 を使用している。加えて、企業は法人会員 (Corporate Member) プログラムに参加できる。[www.sa-intl.org/index.cfm?fuseaction=Page.viewPage&pageID=845&grandparentID=472&parentID=493&nodeID=1](http://www.sa-intl.org/index.cfm?fuseaction=Page.viewPage&pageID=845&grandparentID=472&parentID=493&nodeID=1)

**ウェブサイト** : [www.sa-intl.org/\\_data/n\\_0001/resources/live/2008StdEnglishFinal.pdf](http://www.sa-intl.org/_data/n_0001/resources/live/2008StdEnglishFinal.pdf)

#### **Sedex (Supplier Ethical Data Exchange)**

**説明** : Sedex は、サプライチェーンの倫理面における実績を継続的に改善すると確約する企業の会員組織である。企業は、Sedex のウェブベースのシステム（供給業者の自己評価および監査データのデータベース）を利用し、ワーキング・グループに参加し、他の Sedex 会員とネットワークを作りかかわりを持つために、Sedex に加入する。

**行動規範** : なし

**参加企業** : BBC Worldwide、The Body Shop International、British Red Cross UK、Burberry、G-Star、Lonely Planet Publications、Marks & Spencer、Royal Mail、Sainsbury's Supermarkets および Tesco

[www.sedex.org.uk/sedex/go.asp?u=/WebSite/Home&pm=6&location=List](http://www.sedex.org.uk/sedex/go.asp?u=/WebSite/Home&pm=6&location=List)

**対象業界** : なし。ただし、アパレルおよび消費者製品、ならびに英国を拠点とする企業の比重が大きい。

**ウェブサイト** : [www.sedex.org.uk](http://www.sedex.org.uk)

### **The Sustainability Consortium**

**説明** : The Sustainability Consortium は、物品とサービスのライフサイクル全体を通じて持続可能性を管理する科学に基づく手法を明確に定める、多数の利害関係者のイニシアティブである。

**行動規範** : なし

**参加企業** : Dell、PepsiCo、Procter & Gamble、The Walt Disney Company および Walmart

**対象業界** : 多数の業界

**ウェブサイト** : [www.sustainabilityconsortium.org/](http://www.sustainabilityconsortium.org/)

### **国連工業開発機関（Industrial Development Organization）の責任ある経営達成プログラム（Responsible Entrepreneurs Achievement Programme）（UNIDO REAP）**

**説明** : UNIDO REAP は、中小企業（SME）が CSR の概念を実施するのを支援する CSR ベースの管理・報告手段である。

**ウェブサイト** : [www.unido.org/index.php?id=o42159](http://www.unido.org/index.php?id=o42159)